

(事業所職員向け) 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		仕切ったりオープンにしたりできるつくりになっている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		活動内容や利用児の年齢や状態を確認し、こどもたちのパフォーマンスが最大限に発揮でき、安全に活動するために必要な人数の有資格職員を配置している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		活動室などすべてバリアフリーになっている。玄関は、段差を緩和するために階段を設置している。痲痺などで感情が高ぶっているこどもの為のクールダウンの部屋も確保している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		子どもを受け入れる前に、清掃、除菌を行い、こどもが降所した後も、使用した遊具などは除菌を行い室内は清掃し常に清潔な状態を保つようになっている。活動中も、換気をこまめに行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		年1回保護者に対して事業所の評価をさせていただいている。日頃から保護者のニーズを把握できるようにお話をしている。保護者のご意見を踏まえ業務改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページに掲載し、その旨保護者にも通知している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		支援終了後、振り返りを行い評価し、改善点について話し合っている。定期的な研修や外部の研修への参加も検討し資質の向上に努める。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		アセスメントを行って児童発達支援計画を作成し、変化に応じて計画の見直しを行っている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		保護者とアセスメントを行い、ニーズや課題について共通理解のもと、職員間で目標や、具体的な支援内容を検討して児童発達支援計画を作成している。相談支援員や保育園、こども園、幼稚園の先生方とも連携を図っている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		相談支援の内容を職員間で周知できるようミーティングを行ったり、計画見直し時期は、職員間で達成度の評価を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		日々のテーマに沿った活動プログラムの立案を職員が交代で行い、実施後の評価は全員で行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		季節の行事をプログラムに取り入れ、より幅広い療育活動が出来るようにしている。また日々の活動には、目的・目標を明確に設定し目的・目標に沿って支援している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝のミーティングにてその日の活動内容や活動の目的、役割分担を確認している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援終了後、必ず振り返りの時間を設け約1時間、気づいた点など共有し、その日の活動リーダーは記録に残している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		振り返りの中で、出てきた意見など記録に残すようにしている。声掛けの仕方など支援方法についても全職員が同じ方向を向いて対応できるよう日々心掛けている。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		保護者とのモニタリングでは家庭での様子を伺い、幼稚園、保育園、こども園での様子は先生方には伺い、事業所の様子と総合的に判断して見直しを検討している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		必要に応じて各関係機関と連携を図り、情報の共有を図っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			対象児はいない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			対象児はいない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		他児童発達支援事業所を併用利用されていることも情報を共有し、同じ方向性で支援していけるようにしている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	ほとんどの子どもが幼稚園、保育園、こども園を利用しているので今のところ交流会などは予定にないが、ニーズがあれば今後検討する。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	機会があれば積極的に参加する。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日々連絡帳にて、こどもの状況についてやりとりしている。また、月1回定期的に保護者面談を行い、互いに情報の共有を図っており職員間でも周知している。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	今後検討する。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		連絡帳や、定期的保護者面談にてお話を伺い適宜必要な助言を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者の方々と職員が顔を合わせ交流できる場を設けようと考えている。内容や回数についても今後検討する。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月お便りを発行しており、活動や行事の予定をお知らせしたり、活動の写真を掲載している。その他ホームページやInstagramにて活動の様子を発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報が掲載されたファイルは、鍵付きのロッカーに保管し、持ち出し禁止のルールを徹底している。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		指示が通りやすいように絵カードを使いながら説明したりしている。伝える方法はその子に合わせるようにしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		事業所には招待はしていないが、ハロウィンや社会見学などの行事では、地域にある施設などを訪問して交流を図っている。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		緊急時対応マニュアルなどの掲示物が保護者の方も見える場所にする。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		2ヶ月に1回避難訓練を行っている。避難訓練は活動プログラムの1つとして月報に掲載している。連絡帳にも実施した事を記載している。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時に保護者に確認している。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			食事などの提供はしていない。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		危険と思われる事例があった場合、報告書に記載しミーティングを通して職員で共有している。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待委員会を作り委員が中心となって研修会を行っているが、不定期である。今後は、年間研修に組み込んで定期的に行うようにする。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		身体拘束が必要とされることも今のところいない。

○ この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。